

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道50号結城バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：茨城県結城市小田林 至：茨城県筑西市布川	延長	7.7km		
事業概要					
<p>国道50号は、北関東内陸部～太平洋岸を東西に連絡する主要幹線道路である。国道50号結城バイパスは、結城市を中心とした周辺地域の都市交通の円滑化と交通安全の確保、開発計画等地域振興の支援を目的に進めている4車線のバイパス事業である。</p>					
S54年度事業化		S53年度都市計画決定		S55年度用地着手	
S55年度工事着手					
全体事業費	約257億円	事業進捗率	94%	供用済延長	7.7km
計画交通量	20,500～36,700台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 25.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 16/507億円 事業費：10/475億円 維持管理費：5.7/31億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 404/1,270億円 走行時間短縮便益：369/1,199億円 走行費用減少便益：22/65億円 交通事故減少便益：13/6.5億円	基準年 平成23年	
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=2.3～2.7（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C=21.7～28.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.5（事業費 ±10%） 事業費：B/C=22.7～27.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.3～2.7（事業期間±2年） 事業期間：B/C=22.0～26.1（事業期間±2年）</p>					
事業の効果等					
(1) 交通混雑の緩和					
<ul style="list-style-type: none"> ・結城バイパス暫定2車線区間の損失時間は118千人時間/年・kmであり、全国平均の約4.5倍。並行区間（旧国道50号）の概ね解消している。 ・バイパス区間では、車線数の減少が原因とした、渋滞が発生していることから、4車線化にすることにより交通の円滑化が図られ、渋滞の緩和が見込まれる。 					
(2) 安全安心な通行の確保					
<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスが整備されたことにより、並行区間である、旧国道50号の交通の転換が図られ、安全性が向上したことから、平成23年度より結城中学校の通学路に指定されている。 ・2車線化区間を4車線化することにより、交通の円滑化が図られ、安全性の向上が見込まれる。 					
(3) 地域振興への支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・結城バイパスが通過する結城南側地域は、結城市都市計画マスタープランにおいて、「広域交流拠点（結城バイパス沿道）」や「産業拠点（結城第一工業団地）」の形成に位置付けられ、周辺に工業団地、区画整理の整備が進められ、結城市のまちづくりに寄与している。 					
茨城県知事の意見					
<p>茨城県知事の意見：一般国道50号結城バイパスは、結城市街地の交通渋滞の緩和、安全性の確保が図られるとともに、国道4号や北関東自動車道桜川筑西ICまでのアクセス性が向上し、物流機能の強化や地域産業の活性化に寄与することから、より一層のコスト縮減を図りながら、早期整備をお願いします。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
事業の継続を承認する。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<p>国道50号栃木県内区間は4車線で整備されるとともに、北関東自動車道が供用され、沿道に工業団地等が立地し、当該道路における交通需要が増大している。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<p>平成14年度までに全線暫定2車線で供用、西側の4.9km区間については、平成16年度までに4車線化が完了。</p>					

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地の取得は100%完了。引き続き、全線4車線供用に向けて、隣接するバイパス事業の進捗も見きわめながら、事業促進を図る。

施設の構造や工法の変更等

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性・重要性は高いと考えられる。

事業概要図

凡 例	
	供 用 中
	事 業 中
	再 評 価 箇 所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。